

社協だより

市民誰もが自分らしく輝き、支え合う
福祉のふるさとづくり

うんたん

2025
10月

83号

支える人を 支える募金

全国一斉運動期間

10月1日▶12月31日

赤い羽根共同募金運動が
はじまりました！

～開始式を行いました
10月1日に大東交流センターにて～

△大東保育園めぐるん組の園児さんたちによるダンスのようす

主な内容

- P.2 令和7年度社協会費のおれ・市及び県社会福祉功労者表彰
- P.3 第5期地域福祉活動計画
- P.4 子ども食堂の紹介・しまね信用金庫からの寄贈・令和7年度寄贈のおれ

編集・発行  社会福祉法人 雲南市社会福祉協議会

〒690-2404
島根県雲南市三刀屋町三刀屋1212-3
雲南市三刀屋健康福祉センター内
TEL.0854-45-9888 FAX.0854-45-2211
E-mail: unnan-shakyo@unnanshakyo.jp
ホームページ: <https://unnanshakyo.jp/>



“市民誰もが自分らしく輝き 支え合う福祉のふるさとづくり” ～ 社協会費がこの取り組みを支えています ～

お寄せいただいた
会費の額

10,033,100円 (令和7年9月30日現在)

令和7年度の社協会費をお願いしましたところ、市民の皆さまをはじめ関係の皆さまにたくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。役職員一同心から厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた社協会費は、人口減少と少子高齢化が進む雲南市において、今後ますます必要となる「協働と支え合いによる地域福祉活動の推進」のために大切に使用させていただきます。

今後とも、“福祉のふるさとづくり”のためのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

雲南市社会福祉協議会 会長 **大場 篤**

福祉大会で社会福祉功労者表彰

9/27 しまね県民福祉大会

令和7年度しまね県民福祉大会が島根県民会館で開催され、島根県知事から永年に亘り社会福祉の増進に貢献された方へ感謝状が贈呈されました。また、島根県社会福祉協議会会長から、社会福祉施設等の役職員で功績が顕著な方へ、各団体からは、団体活動に功労のあった方へ、それぞれ表彰が行われました。

しまね県民福祉大会被表彰者

(雲南市社協関係方) 順不同・敬称略

○島根県知事感謝

・民生児童委員功勞
多賀静香

○島根県社会福祉協議会会長表彰

・社会福祉施設・社会福祉協議会・団体等役職功勞

渡部弘明

・民生委員・児童委員功勞

三浦 斉、中西茂敏、陶山隆之

・永年勤続功勞

中村七朗、島田静香、石飛由美子、多々納透
力石純子、幸村恵子、白根知子、廣澤敦紀

10/10 雲南市総合社会福祉大会

雲南市総合社会福祉大会を木次経済文化会館チエリヴァホールで開催しました。式典でははじめに石飛市長から、本年度一〇〇歳を迎えられた方へ内閣総理大臣祝状と記念品が伝達、贈呈されました。

続いて、雲南市社会福祉協議会の大場会長から多年に亘り社会福祉活動に功勞のあった個人及び団体の皆様に表彰状及び感謝状が贈呈され、被表彰者代表 白菊眞二様から謝辞が述べられました。最後に大会宣言決議が採択され、閉会となりました。

雲南市総合社会福祉大会被表彰者 (順不同・敬称略)

○雲南市社会福祉協議会会長表彰

佐藤安政、西村 武、上代 昇、郷原澄子、石飛 司

安部厚雄、経種行義、曾田寛代、石原敬子、長崎 正

永井佳男、小林貴美子、影山敏雄、多田納 興、田中敬子

飯石桂子、梅木泰孝、多根章生、西村謙一、周藤正己

勝部俊治、大島啓史、三嶋恭子、吉長寿子、白菊眞二

板垣ひとみ、白築久美子、小田草 茂、安部宏明、勝部典子

高橋 徹、堀江雅史、大坂弘司、小林節子、堀江邦男

神門千恵子、雲見の里いしし 配食ボランティア
ばくらと会、高尾正男、秋風 潔

○雲南市社会福祉協議会会長感謝

糸原民枝、飯石佳巳、秦 和夫、山根彰夫、加藤一郎

第5期雲南市地域福祉活動計画が完成

続編

～市民誰もが自分らしく輝き、支え合う福祉のふるさとづくり～

前号（7月号）では、策定体制から生活・福祉の課題や概況、そして基本理念・第5期テーマ・基本目標・実施計画といった推進方策やそれを進める体制イメージ図までご紹介しました。今号では、計画の全体構成の中からより具体的な実施事業部分をご説明いたします。

1.【くらしをまもる】 共生

地域で自分らしく安心して
暮らし続けられる

生活支援体制づくり

個別支援

- ・生活困窮者への自立支援
- ・地域を基盤とした相談支援ネットワークの構築
- ・資金融資による生活基盤の充実
- ・狭間のニーズに対する支援メニューの開発
- ・日常生活自立支援事業の充実
- ・法人後見事業の充実

3.【つながりをつくる】 共感

ここに暮らす私たちだからこそ
できる安心して暮らし続けたい

地域づくり

地域支援

- ・学校における福祉教育（共育）の実践
- ・地域を基盤とする福祉教育（共育）の実践
- ・住民主体による共助の仕組みづくり
- ・“その地域ならではの支え合い”の仕組みづくり
- ・“その地域ならではの支え合い”への支援
- ・当事者主体による組織運営の充実に向けた働きかけ
- ・当事者組織の地域福祉推進機能の充実

2.【しあわせをつくる】 共創

誰もが安心して「しあわせ」に暮らすことができる

地域福祉活動づくり

地域生活支援

- ・社会的包摂に向けた福祉教育（共育）
- ・地域生活支援の実践を通じた学びの支援
- ・福祉サービスの融合・開発・確保
- ・相談・支援のネットワークの充実
- ・新たなボランティア活動者の開拓
- ・ボランティア活動支援
- ・災害時福祉支援体制の整備
- ・災害に強い地域づくり



令和7年度から5か年間、本計画はもとより関連のある計画等と整合性をとり、“ともに生きる地域共生社会の実現に向けて”市民、関係者の皆様とともに包括的な支援体制を築きながら様々な取組みを進めて参ります。ご支援ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。



誰もが気軽に利用できる“地域の食卓”

子ども（地域）食堂

子ども（地域）食堂ってどんなところ？

実際に行ってみました！

めめ

取材：子ども・地域食堂「ふらっと」（大東町）

子どもたちをはじめ住民の方々に食事や交流の機会を提供する場で、営利を目的とせずボランティア（人財）や食材などの社会資源を活用しながら運営されています。市内では令和3年から始まった住民主体の取り組みにより、現在12か所の食堂（社協調べ）が立ち上がっています。運営スタイルは定期・長期休業期間中のみ開催など多様で、家庭や学校・職場でもない、過ごしやすい第3の居場所（サードプレイス）として注目されています。

それぞれの想いが詰まった食堂を次号以降も紹介します。

～ 多世代の人や学校の友達・先輩との交流の場は、多くの方の支えで成り立っていました！ ～

ご寄付いただいた
食材等を使用



生活応援物資をひとり親世帯へお渡ししました。

しまね信用金庫 常務理事 久保田^{あきら} 徹 様より、昨今の物価高騰の中、ひとり親世帯の皆様が少しでも暮らしやすくなるようにとの願いを込め、ティッシュペーパーの生活応援物資の目録が雲南市社会福祉協議会に贈呈されました。

贈呈いただいたティッシュペーパーに加え、雲南市民歳末余芸大会の収益金を活用したお菓子の詰め合わせなどを、雲南市内にお住まいのひとり親63世帯にお渡ししました。

受け取られた方からは、「助かります」「子どもとても喜びます」といった感謝の声が寄せられました。



市外局番（0854）

大東支所………… TEL 43-5610
加茂支所………… TEL 49-7306
木次支所………… TEL 42-9080
吉田支所………… TEL 74-0078
掛合支所………… TEL 62-1121

ご寄贈ありがとうございました

（令和7年9月受付分まで）

- ◇ 「三刀屋保育所」・「デイサービスセンターみとや」へ
米 90kg …………… 松谷 和夫 様
- ◇ 「三刀屋保育所」へ もち米 30kg …………… 藤原 正博 様
- ◇ 「えがおの里」へ 米 30kg …………… 木村 守登 様